

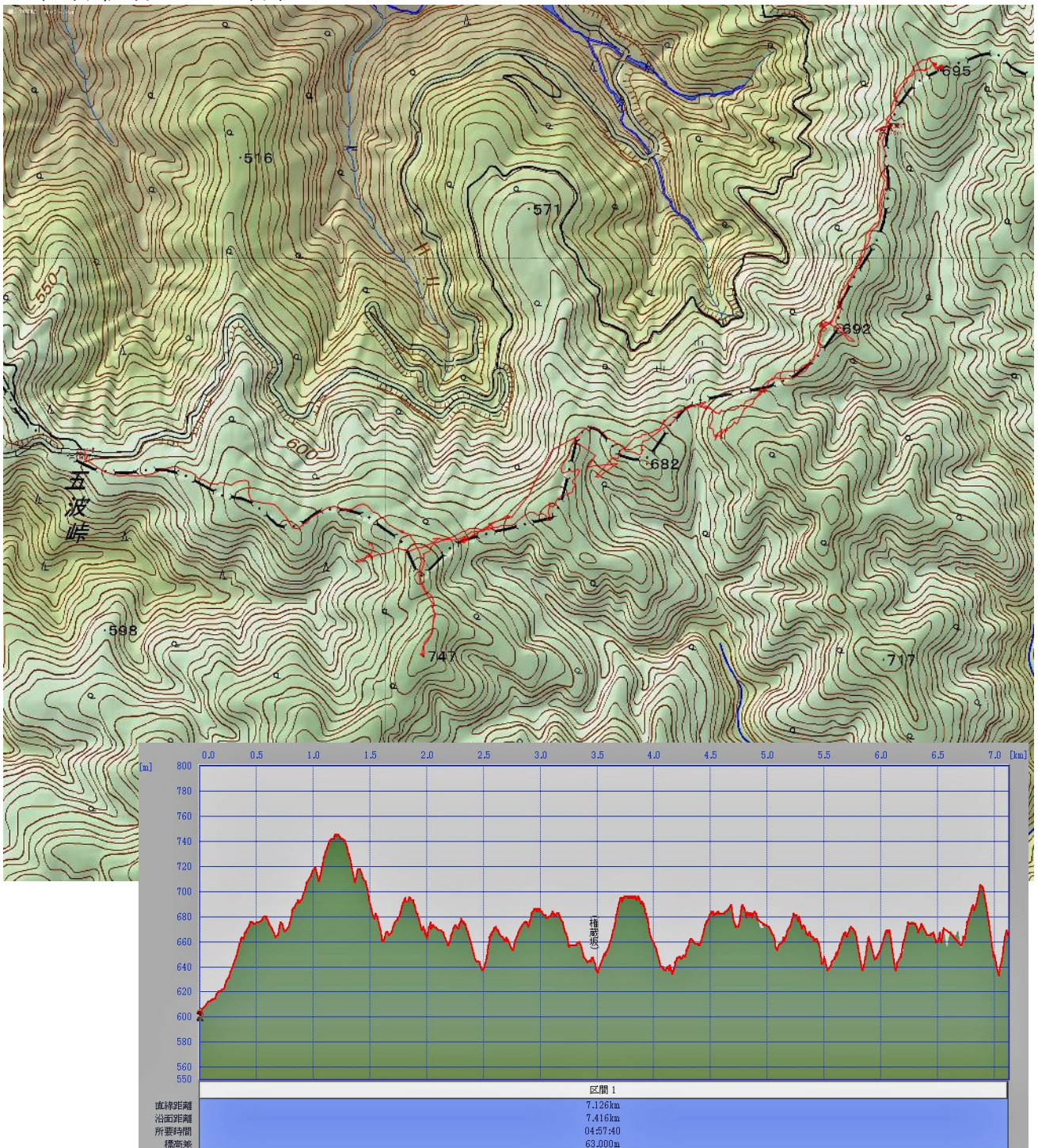
2017年11月5日(日) 若丹国境「五波峠・権蔵坂」 個人山行

参加者：(L)林本佐千枝、加来繁幸、中久保健二、斎藤美重子、玉井ハル、
吉田初枝、松本和子、坪倉邦彦、福田裕子、坂井亘、一瀬順子、廣田富三
計12名

コース距離： 7.4km、 所要時間： 5時間32分(休憩含む)

コースタイム： 五波峠(9:10)→(9:43)中山谷山分岐→(9:52)P747→
(10:01)分岐→(10:40)P682→(11:09)P692→(11:37)権蔵坂→(11:47)P695
P695【食事休憩】(12:23)→(13:57)中山谷山分岐→(14:42)五波峠

*山行軌跡 と 行程グラフ



山行記： 出町柳駅より車二台に分乗して一路「五波峠」を目指す、先行者に案内されて後ろに着けて走行するが最初変な横道に先行車が入りブーイングがあがる。

鞍馬⇒花背⇒広河原⇒佐々里峠⇒五波峠へだが、途中で工事通子止めの表示が在ったが標識の衝立横をすり抜け進んで行き峠に到着する。

峠前は数台車を置けるスペースが有るが車は我々だけであつたが車を降りると寒気がする寒さだった。

登山準備をして登りだす、目的地（権蔵坂）までは標高差は小さいがアップダウンを繰り返す道程である。

最初は踏み跡が在ったが次第に不明瞭になり歩き易い所を選びながら登って行く、歩き始めて40分経った頃に進んでいる方向が間違っている事に気付く、三角点の有るP791.8方向が南で権蔵坂へは北東方向に行く必要があり引き返し分岐まで戻る。

地図とコンパスを見て常に確認しないと別の尾根へ入り込む事になり踏み跡のない道を探りながら進んで行く、案内標識が有っても古すぎて読むことが出来ない。

ただ県境の尾根を歩くルートで福井県側は植林されている事が判明してそれも目安にして進んで行く、山道は常緑樹の譲葉(ゆずりは)が自生している中を歩いて行く。

権蔵坂に11時37分に到着し先に最高点のP695まで登って見たが視界は好いとは言えないが名田庄からおおい町の山が見渡せるのみであるがここで食事休憩を摂ってから引き返す。



五波峠



踏み跡を探しながら
登って行く



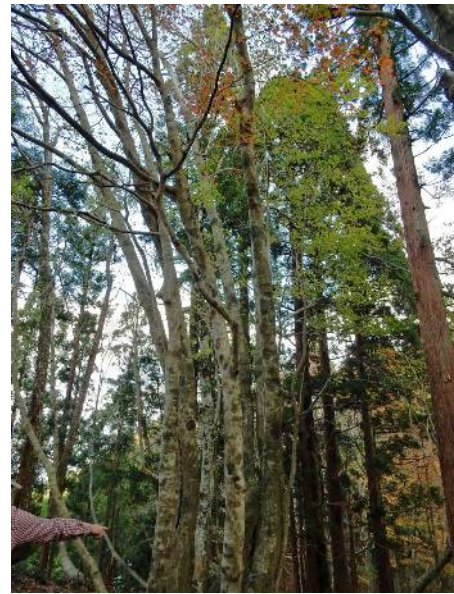
倒木
台風22号の
影響と思われる



不明瞭な標識



P 6 9 2



一か所より二種類の木が伸びている



瘤の出来たブナ



アップダウンの登山道



アップダウンの尾根道



紅葉が残っていた



権蔵坂



P 6 9 5



五波峠で記念写真